

# 人間の墮落②

FilJap 小学生部

# \* 目次 \*

## ■ 墮落の理由

- 天使の役わり
- 天使の墮落
- 人間の墮落
- 純潔な生活

## ■ 人間墮落の結果



## ■ 墮落の理由

### ● 天使の役わり

天使は、神様のしもべです。神様は天使世界を、万物や人間よりも先につくられました。天使は、神様が人間と万物をつくられるときに手伝いました。天使の役わりは、神様の子女であるアダムとエバを、神様のみむねに沿うようによく教育することでした。アダムとエバがよく成長して神様の真の人間になれば、神様の子女として創造された人間は、被造世界に対する主管権があるので、天使まで治めるようになるのです。天使には、アダムとエバをよく教育するべき役わりがあったのですが、その役わりにそむいてしまいました。多くの天使の中で自分の役わりにそむいてしまった天使は誰であり、その理由とは何だったのでしょうか？

### ● 天使の墮落

エデンの園の天使たちは、それぞれ異なった仕事をまかされていました。そのうち、ルーシエルは、天使世界の全体に責任をもった天使長でした。アダムとエバがつくられる前、



神様はルーシエルを最も愛されました。しかし神様は、人間をご自身の息子、娘としてつくれ、4愛されました。神様の愛を受けたアダムとエバは、とても美しくきれいに見えました。

ルーシエルは、神様が自分をそれまでとは違って十分に愛していないと感じました。ルーシエルは、天使世界で最も愛されたと同じように、人間世界でも愛を受けてみようと、エバを誘惑しました。そうしてルーシエルは、悪い蛇のように、エバに近よったのでした。悪い蛇のようなルーシエルの姿は、もはや天使の姿ではなく、サタンの姿でした。

ルーシエルは、自分がしもべであることを忘れ、愛に対して度をすぎた欲望をもちました。そしてエバは、時ではない時に、愛について知りたがりました。そのようにして、ルーシエルとエバは、ついにまちがった関係をもっていました。天使は霊的な存在であるために、エバと霊的な愛の関係をもちました。これを霊的墮落といいます。

愛で一つになると、相手のもっているものを受けつぎます。エバは、天使との霊的墮落によって、良心の苦しみからくる恐怖を感じ、神様が自分のペアとしてつくられた相手はアダム



だということを明確に知りました。エバの目には神様が愛されるアダムがとても美しく見え、その 5  
ため、神様のもとに帰りたい気持ちが生まれました。そこでエバは、自分を誘惑した天使長と同じ立場に立って、アダムを誘惑しました。アダムとエバは、まだ完全に成熟していない状態だったために、  
時でない時に愛の関係をもってはいけなくなっていました。しかしエバは、アダムを誘惑して、  
結局アダムと愛の関係を結んでしまいました。これを肉的墮落といいます。

つまり、靈的墮落がなされたあとに、肉的墮落がなされたのです。靈的墮落が起こったとしても、  
肉的墮落をせずに、アダムは神のみ言を守り、完成しなければなりませんでした。しかし、アダムまで



善悪の実をとって食べたということは、靈的にも肉的にも墮落したということです。

神様は、アダムとエバをつかれたあと、彼らが完成する前に、非原理的な愛の力によって神様のみ言にそむき、墮落するかもしれないということを知っていたので、そのことを心配されて、絶対に善悪の実をとって食べるなといういましめをくださったのでした。

人間は、このいましめに従って、責任を果たすことによって完成し、万物



や天使までも主管することのできる位置まで成長しなくてはなりませんでした。しかし、アダムと 6  
エバはこのいましめにそむいて、間違った愛によって墮落し、それにより人類の罪惡の歴史が始まった  
のです。



## ●人間の墮落

私たちは、天使長ルーシエルとエバが間違った恋に落ちて、罪を犯してしまったということが分かりました。間違った愛は、ともに罪を犯す相手がいてこそ成り立ちます。人間始祖が過ちを犯したあと、聖書には次のように記録されています。

**「あなたはどこにいるのか」**

「園の中であなたの歩まれる音を聞き、わたしは裸だったので、恐れて身を隠したのです」

**「あなたが裸であることを、だれが知らせたのか。食べるなど、命じておいた木から、あなたは取って食べたのか」**

罪を犯す前のアダムとエバは、はだかでいても恥ずかしくありませんでした。しかし、彼らが罪を犯したのちには、はだかにいることを恥ずかしく思い、いちじくの葉っぱをつづり合わせて腰の部分（下半身）をかくしました。

もし、善悪の実が果物で、その果物をとって食べたことが罪だとすれば、彼らは手や口をかく 7  
したでしょう。なぜなら人は、自分のやましい所をかくそうとする性質があるからです。しかし彼らは



手や口をかくさずに、下半身をかくしました。これは彼らの下半身がやましい場所になってしまったという意味です。下半身で罪を犯してしまったということです。

それでは、下半身で犯してしまった罪とはなんでしょうか？

それは、間違った愛以外にはありません。間違った愛を、不倫といいます。結婚をする前に男女が交わること、自分の夫や妻でない人と交わることなどは、すべて不倫です。

愛はもともと美しく高貴で、神様が大切にされるものです。しかし、神様の  
み言に従わずに自分勝手にする愛は、けがれた悪い愛です。神様の子女  
としての責任を果たせないようにする愛、それが墮落の本当の意味です。

### ●純潔な生活

アダムとエバは、神様のいましめをよく守り、完成するまで愛を守らなければなりません。そして時が来たら、神様の愛によって子女を生むべき



でした。しかし、時でない時に愛の関係を結ぶようになり、神様のみむねをなせなくなりました。 8  
彼らは、神様の喜びと、美しさの対象になることができなくなり、神様に悲しみをいただかせてしまいました。

人をだまし、にくんで、争い、うそをついて、人のものを盗むことは、  
神様を悲しませます。しかし、神様を最も悲しませるのは、間違った  
愛です。神様は、時でない時の間違った愛を、きらわれます。

心と体をけがさずに、きれいにたもつことを純潔といいます。純潔は、

美しく貴いものです。たとえば包丁は、  
料理などで使えば役立ちますが、

まちがって使うと人間に害を与えます。愛もまた同じです。

心と体をきれいに守れば、美しく幸せに生きていくことができます。

しかし、純潔を守らなければ不幸になります。純潔な人だけ  
が本来の姿になっていけるのです。



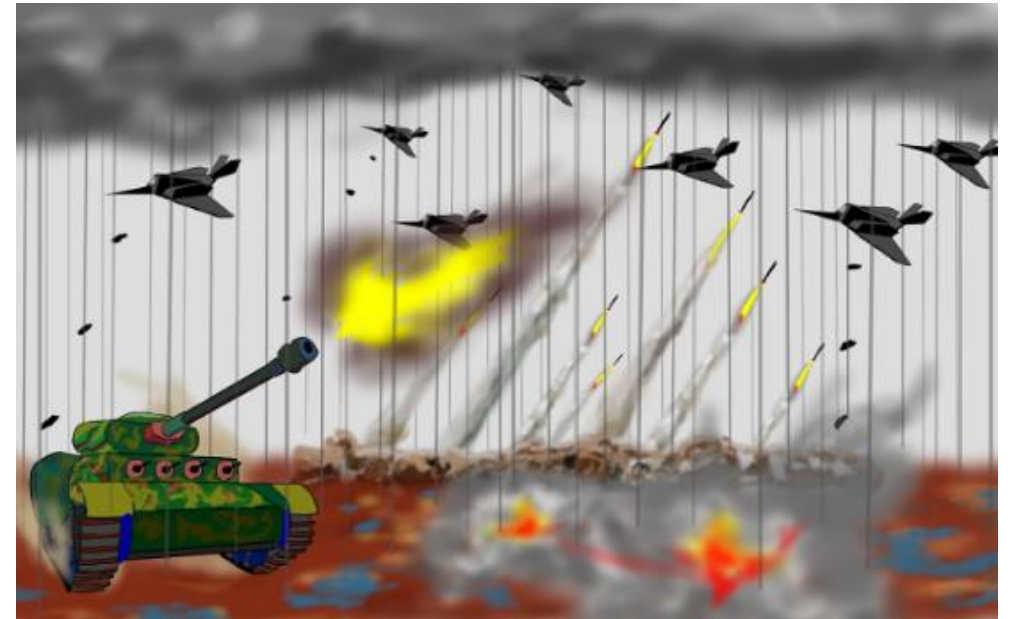


## ■ 人間の墮落の結果

人間は、サタンと血縁関係を結ぶことにより、サタンの偽りの子女になりました。イエス様は、当時のユダヤ人たちを悪魔の子だと言っておしかりになりました。そして、マムシの子とも言われました。これは、人間が犯した罪が何であることを教えてくれています。

人間が墮落した後、この世界はサタンのものになってしまいました。初めの平和になるべき世界は、たがいに争い、殺し、にくみ、だます世界になりました。今日、親をだまし、こぶしを振りかざし、お金をうばい取る青少年がどんどん増えています。家の中では、親兄弟の間で争いがあり、外では、国と国が約束をやぶり、たがいに非難しあって戦争もします。多くの人々が、うえ死にしたり、病気になって死んだり、戦争のせいで死んだりもします。

サタンが、血縁関係によって人間を治めるようになると、そのように人間が悪いことをするように、誘惑するのです。サタンは、はたしてどこにいますのでしょうか？ 私たちは、神様のことが分からないように、サタンについてもよく知り



ません。サタンは墮落した天使長ルーシエルですが、私たちの心と体を通じてルーシエルのような 10 サタンが働きかけてきます。私たちの心の中にある、二つの心のうち、悪い心が、まさにサタンが働きかける心です。

しかし人間は、もともと神様によってつくられたために、サタンの支配を受けるようになって、神様が下さった良い性稟によって、良い行いをしようとします。それで、人間が悪い行いをするようになると、良心のかしゃくを感じます。良心のかしゃくは、私たちに働きかける神様とサタンが、私たちの心の中で闘っているために生まれるのです。



人間には、本来の性質と品格である神様の心によって善良に生きようとする力があります。それで、神様は人間に良い天使や神様の言葉を伝える人を送られ、良い行いをするように導かれます。多くの天使や預言者たち、そしてイエス様が来られて、人々を目覚めさせてくださったのがその証拠です。このようにして、人類の歴史において、神様を中心とした善なる側と、サタンを中心とした悪なる側の闘いが続いてきたのです。



～終わり～

引用文献：  
『はじめての  
原理のおはなし』